

畜産

農業総合センター 農業短期大学校

平成25年度採用

わたしを表すKEY WORD

#子育て奮闘中

令和5年度より産休・育休から復帰し、仕事と子育てに追われる日々を過ごしています。両立できるか不安でしたが、職員の方々の理解・協力が助けられながら、仕事がつらい時も子どもに癒やされて頑張れています。

#パン作り

パンが大好きで、ついに作ってみようという気持ちになりました。家で焼きたてのパンが食べられることは幸せです。レポートは全然ありませんが、休日に焼きたてパンを食べることが楽しみです。

#肥育牛

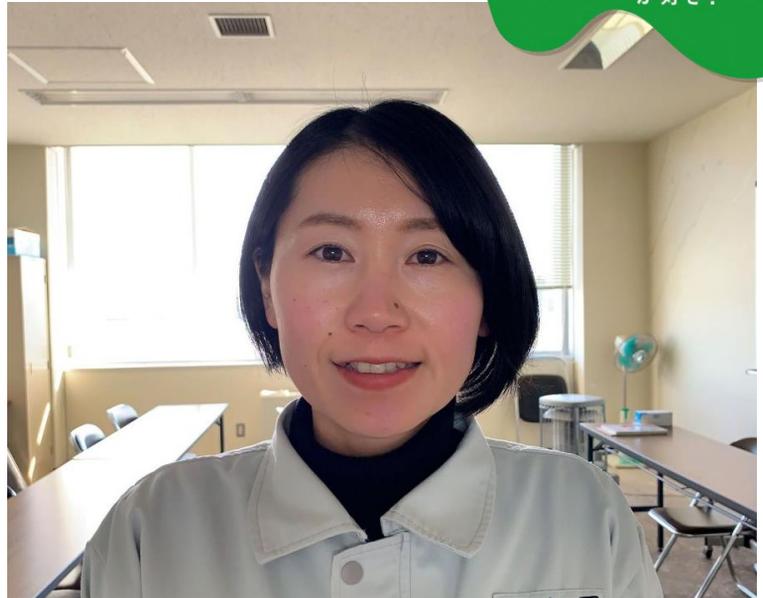
#ドラマ鑑賞

#間食やめられない

私は

福島の
おいしい食べ物

が好き!



[職歴]

H25～ 農業総合センター 畜産研究所
養鶏分場/養鶏科

H29～ 県中農林事務所 須賀川農業普及所
地域農業推進課/経営支援課

R5～ 農業総合センター 農業短期大学校

福島の畜産を1番に応援する人に！

農業短期大学校では、自家または法人への就農を目指した学生や畜産に興味を持った学生が集まり、畜産に関する専門的な知識や技術、経営管理を学んでいます。

これからの畜産業界を支えていく人材を育成する過程に携わることは、責任も感じますが、頼もしく成長していく姿を見ると嬉しく、やりがいを感じます。



県職員を目指した理由

学生時代に震災が起こったことが大きなきっかけとなりました。

震災後、福島県のことを心配する声が聞こえる一方で、良く思わない話も聞こえてきました。このときに、地元である福島県のために何かしたいと感じ、福島県職員を目指しました。

とある一日のスケジュール

8:30	始業
8:40	学生実習 (牛舎一般管理)
10:30	学生実習 (牛体測定)
12:00	昼休み

13:00	肉用牛経営授業
14:50	卒業論文作成指導
17:15	終業

自身の職種の魅力・面白いところ

畜産の振興に向けて、直接農業者の方と接し地域の畜産と関わりが持てることや試験研究で新しい技術開発に携われること、事業関係の支援など、幅広い業務から畜産関係の方々を支援することができます。

また、県内各地に配属されることも、各地域の地域性を感じることができて面白いと思います。



↑ 畜産実習 (牛のブラッシング) の様子

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



福島県の畜産がさらに活気あふれるように、畜産農家の方や関係団体の方をサポートできるようになりたいと思います。

畜産業に携わっている方、目指している方達に寄り添い、人との繋がりを大切にする職員になりたいと思います。

受験者へメッセージ

県職員の畜産職は、行政、普及、研究と多様な業務から福島県の畜産を支えていく仕事です。ぜひ一緒に福島県の畜産を盛り上げていきましょう。